

## ③重点的取組に対する実施状況

P24～P26、P45・46

## 重点課題1：生活習慣病予防の取組

## 【重点事業1】受診率向上へのしくみづくり

## (1) 意識の向上

- 母子保健事業で成人健(検)診の受診勧奨啓発を拡大

## (2) 受診の障害を取り除く

- 特定健診の広域化実施に向けて調整や連携の実施
- 乳がん検診の指定医療機関の拡大に向けての調整と子宮がん検診実施期間を延長
- 集団がん検診では休日実施や託児をおこない、働く世代への受診環境整備に取り組んだ

## (3) きっかけの提供

- 70歳未満の女性に対し、乳がん子宮がん検診の申込制を廃止し対象者全員に受診券を送付
- 特定健診の申込制を廃止し対象者全員に受診書類を継続送付
- 子宮がん検診の受診実施期間を延長、20歳の検診未受診者へ受診再勧奨を実施
- 健診未受診者・未医療（後期高齢者）に特定健診（フレイル健診）受診再勧奨を実施

## 【重点事業2】健（検）診受診後のフォロー体制の確立

- 糖尿病重症化予防事業の継続実施。（受診勧奨、個別保健指導を実施）
- 特定健診結果相談会の実施回数を増やし、個別対応も行うことで参加者数が増加
- 後期高齢者を対象にフレイル状態に該当する方に対し個別保健指導（はつらつ相談）を実施

## 【令和3年度の取組状況】

○健（検）診の受診環境の充実や全数への受診勧奨を行い、受診率向上の取組を強化

⇒●乳がん検診指定医療機関を追加

- がん検診のWEBでの申し込みを開始。また、40歳の受診勧奨ではQRコードの活用や漫画を掲載し若い世代の受診率向上を図った
- 子育て世代の受診率向上のため、子育て情報誌SukuSuku内で女性がん検診受診啓発記事を継続して掲載
- がん検診の情報や特定健診の情報をホームページや検診実施会場を活用し啓発
- 特定健診の指定医療機関を山城南圏域に拡大し実施

○後期高齢者へ特定健診（メタボ）から特定健診（フレイル健診）に内容を改めて実施

○特定健診受診後の支援体制の強化

- 生活習慣病予備軍に対し、感染防止対策を講じ健康相談を実施

## ○後期高齢者歯科健診を実施（新規）

⇒●山城歯科医師会（精華斑）と連携し、年度末年齢76歳の方に歯科健診受診券を送付し後期高齢者歯科健診を実施。特定健診（フレイル健診）の結果よりオーラルフレイルの対象の方にも歯科健診受診勧奨と受診券を送付

○その他

- ⇒●「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業」では、特定健診（フレイル健診）の受診券送付時にフレイル予防の啓発を実施。健診の受診再勧奨や健診の結果よりフレイルに該当する方には保健師、管理栄養士、歯科衛生士による電話支援や相談会の実施  
今後、訪問で保健指導を実施予定。
- フレイル予防をホームページに掲載し、祝園駅や商業施設、検診実施会場等で掲示し啓発

## 【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による事業への影響】

- ・健（検）診事業 → 集団特定健診の中止
- ・特定健診事後フォロー → 集団特定健診結果返却会を中止  
⇒特定保健指導対象者、希望者に予約制での個別相談会実施
- ・啓発事業 → 健康講演会（医師、歯科医師による）を中止

## 重点課題2：つながりを意識した子育て力の強化

### 【重点事業3】妊娠期からの切れ目ない支援の推進・充実を図る

#### (1) 妊娠期からの切れ目ない支援づくり

- 妊娠期からの不安や悩み等の軽減を図るため、妊娠届出時に専門職が対応し家族状況を確認するとともに産前・産後サポート事業の周知を図り、相談支援を強化
- 妊娠後期には妊娠後期アンケートを送付し、相談支援や訪問支援を実施
- 産後ケア事業の拡充を行い、産後支援の充実を図った
- 多胎妊婦に対し妊婦健診の公費補助を実施し、双子手帳の配布の実施

#### (2) つながりづくり

- パパママ教室において、妊娠期からの仲間づくりを目的に新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為オンラインで事業を実施し、参加者同士のつながりが持てるよう働きかけた
- 妊娠期から参加できるマタニティサロンの勧奨を実施

### 【令和3年度の実施状況】

○妊娠届出時や妊娠後期アンケートにおいて、家族等のサポートが十分得られず「育児不安がある」場合、安心して子育てができるよう不安の軽減を図るため、妊娠期から相談支援を行っている産前・産後サポート事業や産後ケア事業等につなげたり、妊産婦への周知を行う。

⇒●母子健康手帳交付時に産後ケア事業のチラシを配布。必要者に個別勧奨

○子育てをしていくにあたり、妊娠期から仲間づくりや地域とのつながりができるよう、関係機関（子育て支援センター等）と連携し、わかりやすいチラシを新たに作成し、子育て支援事業を紹介。

○産後うつ等の予防等を行う観点から、産婦の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、産後の初期段階の支援の強化を図るため、産婦健康診査の公費負担を実施。

○精華町子育て支援アプリ「母子モ」を導入し、地域の子育て情報を発信することにより簡単に情報を取得しやすい環境づくり実施

⇒●母子健康手帳交付時・新生児訪問時・乳幼児健康診査時に精華町子育て支援アプリ「母子モ」のチラシを配布

### 【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による事業への影響】

- |                    |   |                                      |
|--------------------|---|--------------------------------------|
| ・乳幼児健康診査           | → | 令和3年4月から、受付時間や人数の調整、内容を縮小し予定通りの日程で実施 |
| ・パパママ教室            | → | オンラインや少人数定員で実施、両親編は定員を減らして実施         |
| ・新生児訪問事業           | → | 体調確認のうえ、滞在時間を短縮して実施                  |
| ・その他<br>(相談事業・教室等) | → | 体調確認および、定員を減らして実施                    |

## 重点課題3：住民参加・参画型健康づくりの推進

### 【重点事業4】協働による健康づくり活動の発展

#### (1) 広報・周知の強化

- 家族の健康カレンダーや「文化サークル・体育クラブ紹介冊子」、広報にせいか365プロジェクトについて掲載し周知
- がん検診や結果返却会、駅の連絡通路での活動紹介ポスター掲示や資料の配架と必要者に案内
- ホームページにせいか365プロジェクト活動報告を掲載

#### (2) 住民参加・参画型プロジェクト支援

- 新規プロジェクト「いつも野菜カフェレストラン」活動支援の実施。令和3年度よりせいか365プロジェクトへ新規参画が決定
- せいか365プロジェクトネットワーク会議にて、団体同士で情報交換・協力する体制が定着

#### 【令和3年度の取組状況】

- 家族の健康カレンダー、ホームページ、広報、成人保健事業、町関連施設などでの広報・周知活動を継続実施
- せいか365プロジェクトネットワーク会議にて、団体同士、情報交換・協力する体制を支援
- せいか365プロジェクトの取組について広報で紹介、せいかまつりでのPR動画で紹介予定
- せいか365プロジェクト活動育成セミナー「DIYプロジェクト」の活動支援及びせいか365プロジェクトへの参画を支援予定

#### 【新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による事業への影響】

- ・せいか365プロジェクトの7団体の活動は、新型コロナにより活動内容変更や、施設の閉館に伴う中止の影響を受けている